

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和3年度実績及び令和4年度予定（見込））

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	方針	施策	分類	対象	施策名	担当部課	内容	令和3年度			令和4年度
								実績	事業評価	備考	予定（見込）
1	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	①誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境をつくります	競技大会	全世代	市民スポーツ祭の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	バドミントン、卓球、ソフトテニス、スポンジテニス、ミニバレー、フロアカーリング、パークゴルフの7競技の市民大会を開催し、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりを図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7競技中、1競技（ソフトテニス）のみの開催となり、令和2年度を441人下回る310人の参加となった。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	同内容で継続実施
2			イベント・教室	全世代	ウォーキング事業の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	ウォーキングスタンプラリーを開催し、自然あふれるウォーキングコースを歩くことで美しい街並みを再確認し、郷土愛を深めながら健康づくりと体力づくりを行う。	・6月から9月まで月1回のウォーキングスタンプラリーを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月と9月は中止となり、令和2年度を724人下回る243人の参加となった。 ・10月9日(土)にウォーキングフェスティバルを緑ヶ丘公園陸上競技場で実施し、令和2年度を34人上回る187人の参加となった。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	・ウォーキングスタンプラリーは6月から9月までの期間、参加者各自でコースを設定し、ウォーキングを行う。ウォーキング終了後、各スポーツ施設でスタンプを押印してもらい、15個貯まると、とまチョップポイントを付与 ・ウォーキングフェスティバルは10月8日(土)に実施予定
3			イベント・教室	全世代	アールビーズとの協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	ランニングやウォーキングを中心としたスポーツ事業を実施し、社会貢献活動を行っているアールビーズとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興と市民の健康づくりを推進する。	・11月3日(水)に緑ヶ丘公園を会場に、「苫小牧30K」(マラソン大会)を開催し、全道各地より453名が参加した。 ・3月27日(日)に2回目となる「苫小牧30K」(マラソン大会)を開催し、295名が参加した。	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	時期は未定だが、継続実施予定
4			イベント・教室	全世代	スポーツフェスティバルの開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	みる、ささえる、するへのムーブメント創出を念頭に、全市民が体験、楽しむことができるイベントを実施する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	10月9日(日)に総合体育館で、市民大運動会、スポーツ体験会、スポーツ発表会を実施予定
5			補助・助成	全世代	スポーツ学校開放事業	教育部 生涯学習課	小・中学校の体育館や校庭を学校教育活動に支障のない範囲で、学校の施設を社会教育のために市民に利用してもらうことを目的に開放する。	・新型コロナウイルス感染症拡大による「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」により学校開放を休止するなど、国や北海道の通知に基づく対策に応じ事業を実施した。 ・オミクロン株の感染拡大や市内のコロナ感染状況を鑑み、令和4年1月17日(日)から開放休止としたが、少年団については3月24日(木)に再開した。	A (順調に実施)	コロナ禍での実施のため、休止するなど学校教育活動に支障のない範囲で開放している。	市内の小学校22校、中学校3校を開放。少年団については開放中。一般については7月4日(月)に再開。
6	②子どもがスポーツに親しむ機会をひろげます	②子どもがスポーツに親しむ機会をひろげます	イベント・教室	子ども	児童の健全育成	健康子ども部 青少年課	市内各児童センターにおいて、健全な遊びを通して児童の運動に親しむ習慣の形成及び体力の増進を図り、また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。	7館（住吉・日新・沼ノ端・あさひ・錦岡・大成・北栄）で172,896人の来館となった。	A (順調に実施)		・様々なボール遊びなどの運動を実施 ・活動内容や行事案内を、市のホームページや広報に掲載し、近隣の学校へ毎月「センター便り」を配布する。
7			利用促進	全世代	スポーツ施設利用・スポーツイベント参加者へのポイントの付与	総合政策部 スポーツ都市推進課	市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。	スポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント6事業の参加者にとまチョップポイントを付与した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
8			PR	子ども	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	子どものための行事案内を毎月作成し、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布し、市民の生涯学習の機会の充実を図る。	毎月、子どものための行事案内を作成し、市内各所に配布するとともに、市ホームページ等で情報提供した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
9	③高齢者がスポーツを楽しむ機会をひろげます	③高齢者がスポーツを楽しむ機会をひろげます	イベント・教室	高齢者	苫小牧市老人クラブ連合会への補助	福祉部 総合福祉課	苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和3年度実績及び令和4年度予定（見込））

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	方針	施策	分類	対象	施策名	担当部課	内容	令和3年度			令和4年度
								実績	事業評価	備考	予定（見込）
10	1 ライフステージに応じ誰でも気軽にスポーツができる機会を提供します	③高齢者がスポーツを楽しむ機会をひろげます	補助・助成	高齢者	70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行	総合政策部 スポーツ都市推進課	市内に住所がある70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくりだけでなく生きがいづくりを図る。	各施設において240枚を配布した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施予定
11			PR	大人	保健センターを利用した運動教室・講座	健康子ども部 健康支援課	教室・講座でのグループダイナミクスを利用した集団指導と個々の身体に合わせた個別指導を組み合わせた複合的なアプローチを図る。	新型コロナウイルス感染状況により、オンライン教室を継続した。保健センターでの教室実施の再開を検討したが、オンラインのみの開催とした。	B (概ね順調に実施)	・保健センターと連携して実施	保健センターでの教室実施の再開を検討しているが、新型コロナウイルス感染状況により、オンライン教室を継続予定
12			PR	大人	健康に関するイベント実施	健康子ども部 健康支援課	市民から市民へ健康づくりの関心を広げていく契機となる事業を開催することにより、市民一人ひとりが健康を意識し、能動的かつ継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、生活習慣改善の意識づけを図る。	・「健考・健幸DAY2021～健康について考える日にしませんか？」を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画配信にて実施した。 ・特定保健指導対象者や健康情報を伝える健康情報伝道師向けに、講演会や健康状態を確認できる測定会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の状況により、代替事業の検討を行った。	A (順調に実施)	・苫小牧ラジオ体操連盟等の関係団体と連携して実施	・「健考・健幸DAY2022～健康について考える日にしませんか？」実施予定 ・特定保健指導対象者や健康情報を伝える健康情報伝道師向けに、講演会や健康状態を確認できる測定会を実施予定 ・新型コロナウイルス感染症の状況によっては、代替事業の検討を行う。
13	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します		④身近な地域でスポーツの交流ができる機会をつくり出します	競技大会	全世代	とまこまいマラソン大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	とまこまいマラソンを開催する。	9月26日(日)に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力
14			イベント・教室	全世代	八地区スポーツフェスティバルへの支援	総合政策部 スポーツ都市推進課	市内を八地区（錦岡、糸井、中央東、中央南、中央西、中央北、沼ノ端、勇払）に分け、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8地区中、3地区（糸井、中央南、勇払）での実施となり、令和2年度を124人下回る185人の参加となった。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の地区が中止）
15			イベント・教室	子ども	地域スポーツクラブ支援事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる「場」を地域につくり、定着させることを支援する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・セガサミーホールディングス（株）と協力し、ジュニアスポーツ教室を開催	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
16		⑤地域文化として氷上スポーツへの参加を推進し地元を愛する心を育みます	競技大会	子ども	小学生低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	小学校低学年（1～4年生）のアイスホッケー大会を開催し、アイスホッケーの楽しさ・面白さを子ども達に伝え普及を図る。	12月5日(日)、11日(土)、12日(日)に開催し、令和2年度を10人下回る95人の参加となった。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
17			イベント・教室	子ども	氷上スポーツ育成事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	幼児を対象とした氷上スポーツ教室を開催し、遊びやゲームを通じて楽しさを体験してもらい、氷上スポーツ人口の底辺拡大と子どもの体力向上を図る。	・スケートエンジョイスクールは当初10回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、4回の開催となり、延べ630人の参加となった。 ・幼児対象氷上スポーツ助成は、16件386,725円の助成を行った。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
18			補助・助成	町内会	町内会スケートリンク経費助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	町内会でのスケート振興を図るため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。	6町内会（6リンク）に助成を行った。	A (順調に実施)		同内容で継続実施

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和3年度実績及び令和4年度予定（見込））

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	方針	施策	分類	対象	施策名	担当部課	内容	令和3年度			令和4年度			
								実績	事業評価	備考	予定（見込）			
19	2 スポーツへの理解を深め地域でスポーツに参加できる機会を創出します	⑥多様な媒体による情報発信を行いスポーツへの参加をサポートします	PR	大人	スポーツイベントの情報発信	総合政策部 スポーツ都市推進課	各スポーツ施設でのイベント情報を、市ホームページや広報とまこまい等で広く発信し、スポーツへの参加を推進する。	ホームページや広報とまこまい、SNSでオリンピック・パラリンピックやパラスポーツイベントの情報発信を行った。	A (順調に実施)	・秘書広報課と連携	同内容で継続実施			
20			PR	大人	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	年に1回サークルガイドを作成し、文化・芸術・スポーツ等関係団体一覧を公共施設や市ホームページ等で情報提供し、市民の生涯学習の機会の充実を図る。	サークルガイドを6月に作成し、公共施設へ配布するとともに市ホームページ等で情報提供した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施			
21	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくり出します	⑦スポーツ大会の誘致を行いトップレベルのプレーを観る機会をつくり出します	競技大会	高校生	全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	氷上の甲子園としてインターハイと並ぶ全国大会を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。	8月3日(火)から8日(日)まで白鳥王子アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ、新ときわスケートセンターで開催し26チーム、656人が参加した。	B (概ね順調に実施)		8月2日(火)から7日(日)まで白鳥王子アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ、新ときわスケートセンターで開催し22チーム、553人が参加した。			
22			補助・助成	市内競技者	スポーツ大会感染拡大防止対策支援事業助成金	総合政策部 スポーツ都市推進課	本市で開催されるスポーツ大会について、感染対策に係る経費の一部を助成する。	17団体619,051円の助成を行った。	B (概ね順調に実施)		令和3年度で終了			
23			利用促進	市外競技者	全国・全道大会開催誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	本市の魅力や道内外に情報発信する他、開催補助金により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致する。	7件940,000円の補助を行った。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施			
24 (新)			競技大会	大学生	第95回日本学生氷上競技選手権大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	大学生の大会として最高峰の日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー、スピードスケート、フィギュアスケート競技の底辺拡大を図る。	令和4年度新規事業			令和5年1月4日(水)から1月7日(土)まで、ハイランドスポーツセンター屋外リンク、白鳥王子アイスアリーナを会場に、スピードスケート、フィギュアスケート競技を開催予定			
25 (新)			競技大会	高校生	令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	高校生スポーツ最大の祭典である全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のソフトテニス競技大会及びテニス競技大会を令和5年度に開催する。	令和4年度新規事業			令和5年度の開催に向けて、苫小牧市実行委員会を組織し準備を行っている。			
26	⑧スポーツ合宿の誘致を行いトップレベルの練習手法を学ぶ機会をつくり出します	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿等助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	市外のチーム等が本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用して実施するスポーツ合宿等に係る経費を補助する。	62件2,869,000円の補助を行った。	A (順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施				
27							市外競技者	スポーツ合宿の誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	大会等誘致推進協議会による合宿誘致活動を推進し、本市の優位性をPRする。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
28							市外競技者	アイスホッケー競技NTC事業の推進	総合政策部 スポーツ都市推進課	国際競技力向上のために、ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、白鳥王子アイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本のアイスホッケーの競技力向上を図る。	北京オリンピックに向けた強化合宿の拠点施設としてトレーニング環境の整備を行った。	A (順調に実施)	・平成20年度から文部科学省（現担当：スポーツ庁）より拠点指定	・令和4年4月1日から令和8年3月31日まで指定期間が更新された。 ・引き続き、ナショナルチームの強化に寄与できるようにトレーニング環境の整備を行う。

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和3年度実績及び令和4年度予定（見込））

※事業の評価 A（順調に実施） B（概ね順調に実施） C（やや遅れて実施） D（未実施）

番号	方針	施策	分類	対象	施策名	担当部課	内容	令和3年度			令和4年度
								実績	事業評価	備考	予定（見込）
29	3 スポーツ大会や合宿の誘致を行いスポーツを観る機会をつくります	⑨トップスポーツ観戦の機会をつくりスポーツが持つ楽しさや感動を共有します	イベント・教室	観戦者	トップアスリートの試合開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。	・アイスホッケーアジアリーグジャパンカップが9月11日（土）から開催された。（一部の試合が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・女子プロゴルフ日本ハムレディスクラシックが7月8日（木）から11日（日）まで桂ゴルフクラブで開催された。	B （概ね順調に実施）		・アジアリーグアイスホッケー2022-2023が開催されている。 ・女子プロゴルフ日本ハムレディスクラシックが7月7日（木）から7月10日（日）まで桂ゴルフクラブで開催された。 ・ツール・ド・北海道2022（自転車の国際ロードレース）が開催され、最終日（9月11日（日））は緑ヶ丘公園がフィニッシュ地点となった。
30	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑩競技スポーツの活動を支援し世界で活躍する選手を育てます	競技大会	子ども	国際少年アイスホッケー中学生交流会	総合政策部 スポーツ都市推進課	カナダのトライシティと本市の中学生がそれぞれの国の文化とスポーツを味わう機会を作ることを目指し、アイスホッケーを通して競技力向上と普及を図るとともに両国の交流を盛んにする。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D （未実施）	・トヨタ自動車北海道（株）と協力し事業実施	3月下旬に苫小牧選手団がカナダを訪問予定
31			補助・助成	子ども	大会遠征費補助金	総合政策部 スポーツ都市推進課	スポーツ振興を目的とした国際大会出場者と、小・中・高校生の全道・全国大会出場者について、その経費の一部を補助する。	90団体14,671,234円の補助を行った。	A （順調に実施）		同内容で継続実施
32		⑪アスリートを育み応援することでまちの誇りと一体感を醸成します	イベント・教室	全世代	2020東京オリンピック・パラリンピック開催事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、聖火リレーの実施と本市出身の出場者を応援するパブリックビューイングを開催する。	・6月14日（月）に聖火リレーを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 ・7月21日（水）～28日（水）の期間において、日本パラ陸上競技連盟の事前合宿の受入を実施した。 ・8月9日（月）～23日（月）の期間において、カメルーンパラリンピック選手団の事前合宿の受入を実施した。 ・8月12日（木）にパラリンピック採火式を実施。「氷都とまこまい」としてスケートの研磨機を用いて採火した。	A （順調に実施）		なし
33			イベント・教室	全世代	北京オリンピックアイスホッケー女子日本代表の応援事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	2022北京冬季オリンピックに出場するアイスホッケー女子日本代表を応援する事業を実施する。	壮行会とパブリックビューイングを予定していたが、中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D （未実施）	メッセージ入り応援旗・PR動画の作成を行った。	なし
34		⑫トップアスリートとふれあう機会をつくりスポーツ振興につなげます	イベント・教室	子ども	スポーツマスター事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	スポーツの分野において輝かしい活躍をしたスポーツマスターによる教室を実施し、市民スポーツの向上を図る。	・10月23日（土）に佐藤スポーツマスターによる18歳以上の大人を対象とした水泳教室をアプロス日新温水プールで実施し、25名の参加となった。 ・11月27日（土）に本間スポーツマスターによる小学生アイスホッケー教室をダイナックス沼ノ端アイスアリーナで実施し、40名の参加となった。	A （順調に実施）		・10月16日（日）に佐藤スポーツマスターによる小・中学生を対象とした水泳教室をアプロス沼ノ端スポーツセンターで実施予定 ・11月19日（土）に本間スポーツマスターによる小学生アイスホッケー教室を白鳥王子アイスアリーナで実施予定
35			イベント・教室	観戦者	レッドイーグルス北海道との協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	本市をホームとするアイスホッケーアジアリーグのレッドイーグルス北海道との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、レッドイーグルス北海道への支援及び応援活動を推進する。	本市をホームとするアイスホッケーアジアリーグのレッドイーグルス北海道との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、レッドイーグルス北海道への支援及び応援活動を推進する。	A （順調に実施）		・本市の都市再生コンセプトプラン等を活用し、レッドイーグルス北海道の試合の集客向上を目指す。 ・包括連携の一環としてレッドイーグルス北海道が主催するアイスホッケー教室等にとまチョップが出演予定 ・今後も引き続き、実施内容を検討
36			イベント・教室	観戦者	Safilva北海道との協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	本市をサブホームタウンとするバレーボールV2リーグのSafilva北海道との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、Safilva北海道への支援及び応援活動を推進する。	・10月30日（土）、31日（日）に本市で開催された公式試合において応援、協力事業を実施した。	B （概ね順調に実施）		・令和4年度は、本市での公式試合は予定なし。 ・子ども向けバレーボール教室等を検討

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和3年度実績及び令和4年度予定（見込））

※事業の評価 A（順調に実施） B（概ね順調に実施） C（やや遅れて実施） D（未実施）

番号	方針	施策	分類	対象	施策名	担当部課	内容	令和3年度			令和4年度
								実績	事業評価	備考	予定（見込）
37	4 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を地域で育み応援します	⑫トップアスリートとふれあう機会をつくりスポーツ振興につなげます	イベント・教室	観戦者	青森県八戸市との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、両市で開催されるアジアリーグアイスホッケーにおいて、両チームの小学生選抜チームによる交流試合を行うことで会場を盛り上げ、互いの競技力向上を図るとともに、フェリー航路での交流人口の拡大を図る。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)		・交流試合は、中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため） ・代替事業として、両市をホームタウンとする「レッドイーグルス北海道vs東北フリースタイルズ」の試合を観戦し、はちとま連携事業を紹介する。
38	5 スポーツを支える人の拡大を推進します	⑬スポーツボランティアの活躍を推進しスポーツを支える輪をひろげます	支援者育成	推進	スポーツ推進委員会活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	各種会議への参加や市主催・共催事業への協力等、スポーツ推進委員が地域スポーツの普及・推進を図るため活動を援助する。	・4月22日(木)に4月定例会議を実施した。 ・11月25日(木)に11月定例会議を実施した。 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会、胆振管内スポーツ推進委員研修会については新型コロナウイルス感染症拡大によって中止となった。	C (やや遅れて実施)		・4月27日(水)に4月定例会議、6月25日(土)に第1回スポーツ推進委員研修会を実施した ・11月に11月定例会議、2月に第2回スポーツ推進委員研修会を実施予定 ・全国スポーツ推進委員研究協議会（11月17日(木)から18日(金)滋賀県開催）に出席予定 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会（10月13日(木)から14日(金)釧路市開催）に出席予定 ・胆振管内スポーツ推進委員研修会（登別市開催）に出席予定
39			支援者育成	補助	スポーツボランティアの育成	総合政策部 スポーツ都市推進課	各種スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるスポーツボランティアを募り、スポーツを通じて地域の活性化やスポーツ振興を図る。	苫小牧市スポーツ協会がスポーツボランティアの募集を通年でを行い、各種スポーツイベントへ協力した。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
40			支援者育成	補助	アスリートフードマイスター養成支援	産業経済部 観光振興課	スポーツ大会や合宿誘致の推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	ホームページ等を通じアスリートフードマイスターの活動を紹介した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
41	6 民間事業者等と協力して誰もがスポーツに参加できる環境を整備します	⑭民間スポーツ事業者や各種教育機関と協力し誰もがスポーツに参加できる機会を提供します	イベント・教室	全世代	指定管理者の自主事業の充実	総合政策部 スポーツ都市推進課	市民の心身の健全な発達及び普及振興を図ること、及びスポーツ施設の利用率向上を目的とした指定管理者が実施する事業。	12施設で97,370名の参加があった。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
42			支援者育成	推進	北洋大学との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	北洋大学との連携により、大学のスポーツ資源の活用や地域スポーツとの連携を図り、市民のスポーツ参加を推進する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	スポーツイベント等での事業協力を予定
43	7 それぞれの適性に応じたスポーツ活動を推進します	⑮障がいのある方がスポーツを楽しむ機会をつくりまします	イベント・教室	障がい者	フライングディスク教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	北海道フライングディスク連盟の加賀洋一氏を講師としてお迎えし、フライングディスク教室を開催する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	6月25日(土)に福祉ふれあいセンターで実施し、健常者も含め28名が参加した。（2年振りの開催となった。）
44			イベント・教室	障がい者	ボッチャ教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	北海道ボッチャ協会理事長の樋口幸治氏を講師としてお迎えし、ボッチャ教室を開催する。	令和2年度は中止となったが、7月17日(土)に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者を含めて令和元年度を1名上回る40名が参加した。	A (順調に実施)	・福祉部とも連携	7月23日(土)に福祉ふれあいセンターで実施し、健常者も含め37名が参加した
45			イベント・教室	障がい者	車椅子バスケットボール教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	苫小牧WBCの野本孝紀氏と松村和臣氏を講師としてお迎えし、車椅子バスケットボール教室を開催する。	12月18日(土)に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めて令和2年度より2名上回る32名が参加した。	A (順調に実施)	・福祉部とも連携	11月26日(土)に福祉ふれあいセンターで実施予定

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和3年度実績及び令和4年度予定（見込））

※事業の評価 A（順調に実施） B（概ね順調に実施） C（やや遅れて実施） D（未実施）

番号	方針	施策	分類	対象	施策名	担当部課	内 容	令和3年度			令和4年度
								実績	事業評価	備 考	予定（見込）
46	7 それぞれの適性に応じたスポーツ活動を推進します	⑮障がいのある方がスポーツを楽しむ機会をつくりま	イベント・教室	障がい者	パラアイスホッケー教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	日本代表の須藤悟氏と廣瀬進氏を講師としてお迎えし、パラアイスホッケー教室を開催する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	10月1日(土)に新ときわスケートセンターで実施予定
47			イベント・教室	障がい者	フロアカーリング教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	年代や健康状態に関わらず誰でも楽しめるニュースポーツであるフロアカーリングの教室を開催する。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力 ・福祉部とも連携	2月18日(土)に福祉ふれあいセンターで実施予定
48			イベント・教室	障がい者	パラスポーツ体験会	総合政策部 スポーツ都市推進課	パラスポーツ体験会を実施することで、市民への周知・振興と障がい者の社会への参加につなげていく。	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	9月11日(日)に総合体育館で開催し、76名の参加があった。 ・車いすバスケットボール ・ボッチャ ・フライングディスク ・パラ陸上 ・サウンドテーブルテニス
49	8 誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備を進めます	⑯誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備を進めます	利用促進	市内競技者	既存スポーツ施設の改修	総合政策部 スポーツ都市推進課	既存施設の改修や再整備を進め、施設の有効活用を促進し誰もが利用してみたいと思える魅力ある施設を目指す。	令和5年度開催のインターハイに向けた緑ヶ丘公園庭球場の改修について、南側コート8面中、4面の改修が完了した。	A (順調に実施)		・令和5年度開催のインターハイに向けた緑ヶ丘公園庭球場の改修について、南側コート8面中、令和3年度未着手の4面の改修を実施予定 ・屋内ゲートボール場の競技種目の拡大に向けて、人工芝化や防球ネットの設置、コート照明のLED化を実施予定 ・苫小牧熱サービス(株)の熱供給事業終了に伴い、日新温水プールの熱源改修を実施予定
50			利用促進	市内競技者	スポーツ施設の一体管理	総合政策部 スポーツ都市推進課	スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため指定管理者による一体管理	総合、川沿公園、日吉体育館、及び緑ヶ丘公園内スポーツ施設（ハイランドスポーツセンター・とましんスタジアム・清水野球場・少年野球場・庭球場・サッカー場・陸上競技場）の一体管理を継続して行った。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施